

15. ボストン福島シャトル便

いよいよ今月末に帰国です。今月は、仕事のまとめと知人友人にお別れの挨拶をして、楽しみの読書と散歩もたっぷりしようと欲張り計画です。最近の自分の中のテーマは、「ボストンの日本」でした。というのも、桜がきれいな季節で、日本関係のお祭りが続いてあったからです。

これは近くの高校の桜祭りです。日本からアメリカへの桜の植樹 100 周年記念と、大震災に対する支援の感謝のためにボストン総領事館からこの地域に桜を寄付されたことから、昨年始まったそうです。雨だったので体育館の中だったのですが、和太鼓がかっこよく鳴り響いて、とても楽しい時間が過ごせました。日本人らしき人が少ない体育館で、みんなが和太鼓のパフォーマンスを聞きながら、お寿司を食べて、子どもは水風船つりとか金魚釣りをするという、不思議な空間でした。お好み焼きを作っていた男性にどこで習ったのと聞いたら、料理の本と YouTube で勉強したというお答え！ 広島風というお好み焼の中に入ってたのはケチャップ味のスパゲティだったけど、おいしかったです。



そしてこちらはボストン日系企業、日系各団体等が総出で協賛したボストン春祭りです。食べ物のセクションはこの通り行列だらけで、我が家は、親 2 人が食べたラーメンは 30 分待ちで、子どもが食べたうどんは待ち時間なし。自分がいる列の先にあるのがなんだか分からず並んでいる人もいて面白かったです。



食べ物といえば、よく土曜日の夕食に行くのが近所にある Yokohama という、アットホームな日本人ご夫婦経営のレストランです。奥様が福島出身で、私達家族3人はもうメニュー見ずにオーダーできます。先月はお店のカウンターで売っていた焼き物を衝動買い。こちらに来てから湯呑以外はアパートについている食器で我慢していたのですが、この3点が加わっただけで食べる時の気持ちが落ち着きました。割れずに持って帰れたら、良い思い出の品になりそうです。



ボストン美術館では日本でもめったに見られないような、立派な沢山の兜の展示があました。この展示企画の名前は Samurai で、アメリカらしいです。展示の仕方が大胆で、大人もわくわくして写真撮りまくりでした。今年は5月の節句に兜を家で飾れなかったのが、ちょうど良いイベントでした。



あと3週間で帰国です。前回のシャトル便の写真で、講座の新しい空気が伝わってきました。来月から新しい職場に行くような気分です。それまでに仕上げなければいけない仕事を頑張ります。